

# 数 学

注 意

- 1 問題は **1** から **4** までで、7 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午前 11 時 00 分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 解答は全て解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えに根号が含まれるときは、根号を付けたまま、分母に根号を含まない形で表しなさい。また、根号の中は最も小さい整数にしなさい。
- 6 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 7 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕  $\frac{\sqrt{6}+3\sqrt{3}}{\sqrt{2}}+(\sqrt{3}-\sqrt{2})^2+\sqrt{\frac{3}{2}}$  を計算せよ。

〔問2〕 2次方程式  $(x+1)(2x-3)=(x-1)^2$  を解け。

〔問3〕 不等式  $12<\sqrt{13n}<14$  を満たす自然数  $n$  の個数を求めよ。

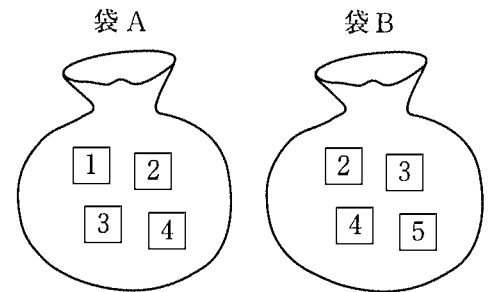
〔問4〕 右の図1のように、1, 2, 3, 4の数字が1つずつ書かれた4枚のカードが入っている袋Aと、2, 3, 4, 5の数字が1つずつ書かれた4枚のカードが入っている袋Bがある。

2つの袋A, Bから同時にそれぞれ1枚のカードを取り出す。

このとき、取り出したカードに書かれた2つの数の和を3で割った余りが2となる確率を求めよ。

ただし、2つの袋A, Bそれぞれにおいて、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

図1

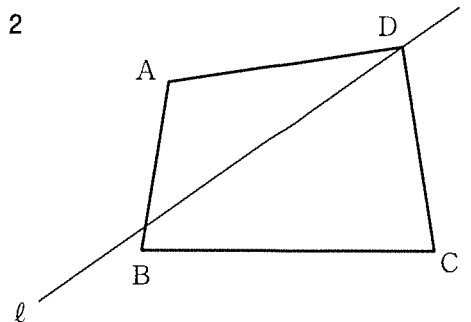


〔問5〕 右の図2の四角形 ABCD で、頂点 D を通る直線  $\ell$  を折り目として1回折り返すと、頂点 A が辺 BC と重なった。

解答欄に示した図をもとにして、折り目となる直線  $\ell$  を定規とコンパスを用いて作図せよ。

ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。

図2



2 右の図で、点  $O$  は原点、曲線  $f$  は  
関数  $y = ax^2$  ( $a > 0$ ) のグラフ、曲線  $g$  は  
関数  $y = -\frac{1}{4}x^2$  のグラフを表している。

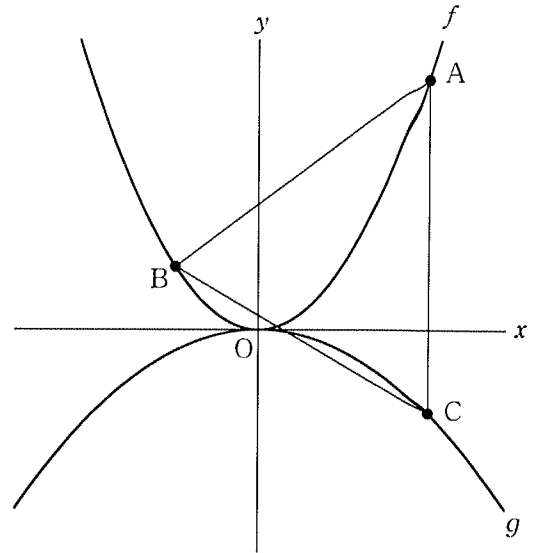
2 点  $A$ ,  $B$  はともに曲線  $f$  上にあり、点  $C$  は曲線  $g$   
上にある。

点  $A$  と点  $C$  の  $x$  座標はともに  $2t$ 、点  $B$  の  $x$  座標は  
 $-t$  である。

ただし、 $t > 0$  とする。

点  $A$  と点  $B$ 、点  $B$  と点  $C$ 、点  $C$  と点  $A$  をそれぞれ  
結ぶ。

次の各問に答えよ。



[問1]  $a = 1$ ,  $t = 1$  とする。

2 点  $B$ ,  $C$  を通る直線の式を求めよ。

[問2]  $\triangle ABC$  が  $\angle ABC = 90^\circ$  の直角二等辺三角形となるとき、 $t$  の値を求めよ。  
ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

[問3]  $t = 3$  とする。  
点 A を通り傾き 4 の直線が、 $\triangle ABC$  の面積を 2 等分するとき、 $a$  の値を求めよ。

3 右の図で、円Oは線分ABを直径とする円である。

点Bを通る円Oの接線上に、点Bと異なる点Cをとる。

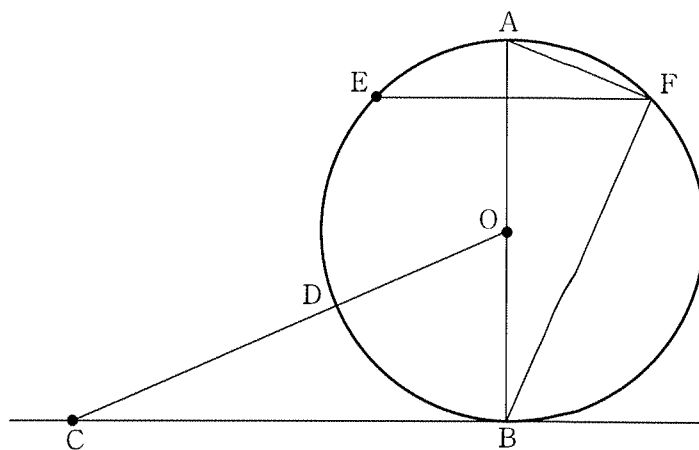
点Oと点Cを結び、線分OCと、円Oの交点をDとする。

点Dを含む $\widehat{AB}$ 上に、点Bと異なる点Eを、 $\widehat{BD} = \widehat{DE}$ となるようにとる。

点Eを通り接線BCに平行な直線と、円Oとの交点のうち、点Eと異なる点をFとする。

点Aと点F、点Bと点Fをそれぞれ結ぶ。

次の各問に答えよ。



[問1] 点Aを含む $\widehat{EF}$ と、点Aを含まない $\widehat{FB}$ の長さの比が6:7のとき、 $\angle OCB$ の大きさは何度か。

〔問2〕 次の(1), (2)に答えよ。

(1)  $\triangle OCB$  の  $\triangle ABF$  であることを証明せよ。

(2)  $\triangle OCB$  と  $\triangle ABF$  の相似比が  $3:2$  で、 $\triangle OCB$  の面積が  $9\sqrt{2}\text{cm}^2$  のとき、円  $O$  の直径は何  $\text{cm}$  か。

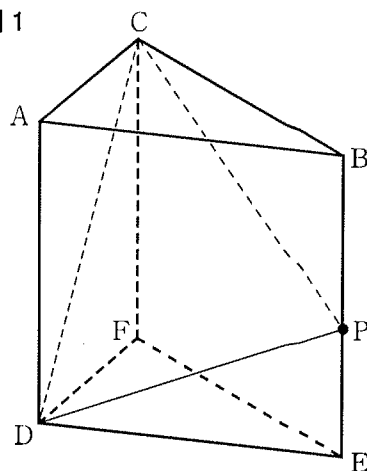
4 右の図1に示した立体  $ABC - DEF$  は、 $AB = BC = 5 \text{ cm}$ 、 $CA = 4 \text{ cm}$ 、 $AD = a \text{ cm}$  の三角柱である。

点  $P$  は辺  $BE$  上にある点で、頂点  $B$ 、頂点  $E$  のいずれにも一致しない。

頂点  $C$  と頂点  $D$ 、頂点  $C$  と点  $P$ 、頂点  $D$  と点  $P$  をそれぞれ結ぶ。

次の各問に答えよ。

図1



〔問1〕  $\triangle CDP$  が正三角形となるとき、 $a$  の値を求めよ。

〔問2〕 四角形  $ADPB$  の面積を  $S \text{ cm}^2$ 、四角形  $PEFC$  の面積を  $T \text{ cm}^2$ 、 $\triangle CDA$  の面積を  $U \text{ cm}^2$  とする。

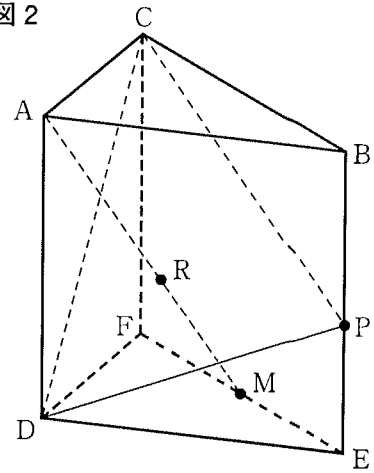
$S : T = 5 : 4$  のとき、 $T : U$  を最も簡単な整数の比で表せ。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

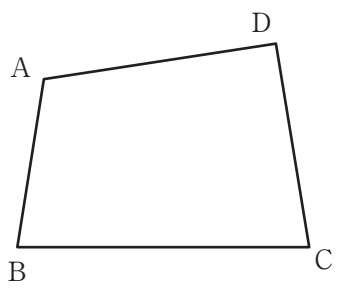
〔問3〕 右の図2は、図1において、辺EFの中点をMとし、  
 頂点Aと点Mを結び、線分AMと平面CDPとの交点をRとした場合を表している。

$a = 6$ 、 $EP = 2 \text{ cm}$  のとき、点Rと頂点D、点Rと  
 頂点E、点Rと頂点Fをそれぞれ結んでできる  
 立体R-DEFの体積を求めよ。

図2





1				点	2				点	3				点	4				点
〔問1〕					〔問1〕	$y =$				〔問1〕	度				〔問1〕	$a =$			
〔問2〕					〔問2〕	【 途中の式や計算など 】				〔問2〕	(1)	【 証 明 】			〔問2〕	【 途中の式や計算など 】			
〔問3〕	個				〔問3〕					〔問3〕					〔問3〕				
〔問4〕					〔問4〕					〔問4〕					〔問4〕				
〔問5〕					〔問5〕					〔問5〕					〔問5〕				
				(答え) $t =$				(答え) $T : U =$											
※ <span style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span> の欄には、記入しないこと				〔問3〕 $a =$															
小計 1	小計 2	小計 3	小計 4	合 計 得 点				受 検 番 号											
								〔問2〕 (2) cm				〔問3〕 cm <sup>3</sup>							

数 学

1		点
[問 1]	$5 + \sqrt{3}$	5
[問 2]	$\frac{-1 \pm \sqrt{17}}{2}$	5
[問 3]	4 個	5
[問 4]	$\frac{5}{16}$	5
[問 5] 解答例		5

※    の欄には、記入しないこと

小計	1	小計	2	小計	3	小計	4

2		点
[問 1]	$y = -\frac{2}{3}x + \frac{1}{3}$	7
[問 2] 解答例	【 途中の式や計算など 】	10
<p>点 A, 点 B, 点 C の座標を <math>a</math> と <math>t</math> を用いて表すと,  <math>A(2t, 4at^2)</math>, <math>B(-t, at^2)</math>, <math>C(2t, -t^2)</math>                  辺 AC の中点を D とすると, <math>AC \parallel y</math> 軸 より,  <math>D(2t, d)</math> と表せる. <math>AD=DC</math> より,  <math>4at^2 - d = d - (-t^2)</math>  <math>d = \frac{4a-1}{2}t^2</math></p> <p>よって, <math>D\left(2t, \frac{4a-1}{2}t^2\right)</math>  <math>BD \parallel x</math> 軸より, 点 B と点 D の <math>y</math> 座標は等しいから,  <math>at^2 = \frac{4a-1}{2}t^2</math>  <math>t^2 \times \frac{-2a+1}{2} = 0</math>  <math>t^2 \neq 0</math> より, <math>\frac{-2a+1}{2} = 0</math>                  よって, <math>a = \frac{1}{2}</math></p> <p>したがって, <math>A(2t, 2t^2)</math>, <math>B(-t, \frac{1}{2}t^2)</math>, <math>D\left(2t, \frac{1}{2}t^2\right)</math>  <math>\triangle ABD</math> は <math>\angle BDA = 90^\circ</math> の直角二等辺三角形であるから,  <math>BD=AD</math> より, <math>2t - (-t) = 2t^2 - \frac{1}{2}t^2</math>                  整理して, <math>t(t-2) = 0</math>                  よって, <math>t = 0, 2</math>  <math>t &gt; 0</math> より, <math>t = 2</math></p>		
(答え) $t = 2$		
[問 3]	$a = \frac{3}{7}$	8

合計得点	受検番号

3		点	
[問 1]	27 度	7	
[問 2] 解答例	(1) 【 証 明 】	10	
<p><math>\triangle OCB</math> と <math>\triangle ABF</math> において,                  直線 BC は円 O の接線であるから,  <math>\angle CBO = 90^\circ</math>                  線分 AB は円 O の直径であるから,  <math>\angle BFA = 90^\circ</math>                  よって, <math>\angle CBO = \angle BFA \dots\dots ①</math>                  また, <math>\widehat{BD} = \widehat{DE}</math> より,  <math>\angle BOC = \angle BOD = \frac{1}{2} \angle BOE \dots\dots ②</math>                  円周角の定理より,  <math>\angle BFE = \frac{1}{2} \angle BOE \dots\dots ③</math>                  ②, ③より,  <math>\angle BOC = \angle BFE \dots\dots ④</math>                  線分 AB と線分 EF の交点を G とすると,  <math>EF \parallel CB</math>, <math>\angle CBO = 90^\circ</math> より, <math>\angle BGF = 90^\circ</math>  <math>\triangle OCB</math> と <math>\triangle FBG</math> において,  <math>\angle OCB = 90^\circ - \angle BOC \dots\dots ⑤</math>  <math>\angle FBG = 90^\circ - \angle BFG = 90^\circ - \angle BFE \dots\dots ⑥</math>                  ④, ⑤, ⑥より,  <math>\angle OCB = \angle FBG = \angle ABF \dots\dots ⑦</math>                  ①, ⑦より, 2組の角がそれぞれ等しいから  <math>\triangle OCB \sim \triangle ABF</math></p>			
[問 2]	(2)	6 cm	8

4		点	
[問 1]	$a = 2\sqrt{3}$	7	
[問 2] 解答例	【 途中の式や計算など 】	10	
<p><math>EP = x</math> cm とすると,  <math>S = \frac{1}{2}(a + (a-x)) \cdot 5 = \frac{5}{2}(2a-x)</math>  <math>T = \frac{1}{2}(a+x) \cdot 5 = \frac{5}{2}(a+x)</math>  <math>U = \frac{1}{2}a \cdot 4 = 2a</math>  <math>S : T = 5 : 4</math> のとき,  <math>\frac{5}{2}(2a-x) : \frac{5}{2}(a+x) = 5 : 4</math> より,  <math>(2a-x) : (a+x) = 5 : 4</math>                  よって, <math>4(2a-x) = 5(a+x)</math> より, <math>x = \frac{a}{3}</math>                  このとき, <math>T = \frac{5}{2}\left(a + \frac{a}{3}\right) = \frac{10}{3}a</math>                  したがって, <math>T : U = \frac{10}{3}a : 2a = 5 : 3</math></p>			
(答え) $T : U = 5 : 3$			
[問 3]	$\frac{8\sqrt{21}}{5}$	cm <sup>3</sup>	8